

Heart Communication  
**ハート通信**  
No.19

- 目次 -  
はじめに  
医師紹介  
ニュース  
リハビリテーション  
術後の会参加者の声  
術後体験記



手術の時の一針一針が、患者さんのその後の  
人生を決めるといっても過言ではありません。

患者さんにとってみれば人生をかけた手術です。患者さんの生死を毎日のように見ながら、この緊張の連続の手術を行っていかねばなりません。うまくいって喜んでいただいた患者さんのことよりも、手術をしても合併症で苦しんでいる患者さん、亡くなられた患者さんのことが頭から離れないことがあり、弱気になることもあります。世界中のすべての心臓外科医はこの呪縛から解放されることはありません。しかし、一人でも多くの患者さんを救うために反省と勉強の毎日から前進していかなければならないと思っています。

II INTRODUCTION & TOPICS

Z

心臓血管外科 13 年の歴史  
History of cardiovascular surgery 13 year





心臓血管外科部長 大橋 壯樹 挨拶

introduction

名古屋徳洲会総合病院で心臓血管外科を開設して13年になりました。手術をさせていただいた患者さんの中でも術後10年を過ぎた方も多くなりました。まったくお変わりなくお元気な方から、再発された方、別のご病気を患った方まで様々なお便りをいただきます。心臓手術のおかげでいろいろ楽しい日々を送られているといったお便りもいただきます。術後の会の患者さんの一人が、「生きていて丸儲けですね。」と言った言葉が印象に残っていますが、皆さまはお元気に楽しく暮らしていますでしょうか。また暑い夏を乗り切っていますでしょうか。

開設当時、私は若さと元気だけがとりえでしたが、今では元気さは若い先生達に任せ、ベテラン、熟練といった言葉が似合う医師にならなければと思います。今ではここで育った若い心臓外科医も、名古屋だけでなく、大阪の松原徳洲会病院、京都の宇治徳洲会病院で手術を頑張っています。現在9人の心臓外科医でチームを組んでいます。当グループでの手術総数は6,000例を超えました。この経験をもとに、これからも若い先生方とともに頑張ってお参ります。

- topics -



週刊朝日 MOOK いい病院

手術数でわかる全国&地方トップ3000病院で心臓血管外科の2011年の成績は、全国ランキング心臓手術も第29位と好成績。地方別ランキングも、心臓手術件数で上位にランクインした(2位)。

毎年、上位に入る成績も、日々の努力が積み重なって生まれたものといえる。



読売新聞社 病院の実力

2011年は心臓手術成績、冠動脈バイパス手術が上位に選ばれた(2位)。毎年、心臓の手術件数で好成績に入る当院、心臓血管外科は、チームワークの良さがその要ともいえる。

毎年、上位に名を連ねるために、日頃から各スタッフとの連携を密にし、常にコミュニケーションをとっている。

II INTRODUCTION

Z

「縁の下の力持ち」みたいなものですね。

the unsung heroes





はじめに

## 麻酔科部長 石黒 芳紀 挨拶

introduction

はじめまして。麻酔科を担当しております石黒芳紀と申します。

こちらの病院で働くようになったのは、かれこれ6年ほど前からですが、4年前から常勤として心臓手術の麻酔を担当させていただいております。私の専門が心臓手術の麻酔であることもありまして、東京の大学病院から、心臓手術の上手な当院にはるる移ってまいりました。

麻酔科医が何をしているのか、あまり一般の皆様には知られていないかもしれませんが、今回は特別に、こちらで手術を受けていただいた患者様にお話したいと思います。

もともと、麻酔は手術の痛みをとることから始まりました。麻酔なしで、胸を開けて心臓の手術をしたら、飛び上がって気絶してしまいますよね。そこで、麻酔によって、脳と脊髄を中心に麻酔薬を効かせて痛みを感じないようにしてしまい、さらには、それと同時に、眠ってもらう＝意識を取ってしまうわけです。もし、手術中に起きていたいという患者様がいらしたら、そのようにリクエストしていただければ、痛みだけ取って、意識はなるべくとらないようにすることはできるかもしれませんので、どなたかご希望でしたら、その旨リクエストしてみてください。

ところで、心臓の手術と他の手術の違うところは、心臓手術においては、心臓をとめて手術したり、あるいは、心臓を裏返しにして心臓の裏に血管をつないだりすることのある点です。つまり、通常の手術であれば、自分の心臓の拍動とともに血液が循環しているので、ある意味、手術の術野のことを心配していればいいのですが、心臓手術では、ただでさえ、調子の悪かった心臓なのに、手術によってさらに心臓が「いじめられる」ので特殊な薬の力をつかって心臓の収縮力を増強したり、あるいは、完全に心臓が止まるのであれば、人工心肺という機械を使って循環を保ってもらうわけです。手術が終わった後も、しばらくは相当に傷んでいますので、全身の循環を保ってもらうためには、繊細なチューニングをしながら、心臓に働いてもらいます。

心臓外科の先生たちは、手術中には、心臓の中の弁を取り替えたり、血管をつないだりという、実際の仕事をしている間、われわれ麻酔科医や臨床工学技士が皆様のからだの循環管理をしているわけです。人工心肺につながれている間は、実は機械が血液を回していますので、ある意味安全ですが、いったん心臓内操作が終わると、人工心肺から離脱しなくてはなりません。その時から、自分の心臓でしっかり循環を保ってもらわないといけないので、われわれ麻酔科医は、麻酔をかけているというよりは、実はかなりの神経を「心臓をいかにうまく動かすか」に集中しております。

心臓外科の先生たちが、本当のお仕事をさせていただいている間、患者様の安全を監視して、心臓の動きを見守っているのが私ども麻酔科医の仕事です。「縁の下の力持ち」みたいなものですね。……そういえば、高校時代にも、演劇をやった際に、舞台装置を担当していましたので、昔から表舞台に立つより裏方で仕事をするのが好きなようです。



＜石黒 芳紀＞  
東京大学卒（平成元年）  
～略歴～  
名古屋市原病院麻酔科  
ハーバード大学ベス  
・イスラエル病院麻酔科  
名古屋大学医学部麻酔科

DOCTOR INTRODUCTION



大橋 社樹

心臓血管外科グループ 医師たちの軌跡

Doctors' tracks



坂倉 玲欣



吉田 毅

平井 康隆



児島 昭徳



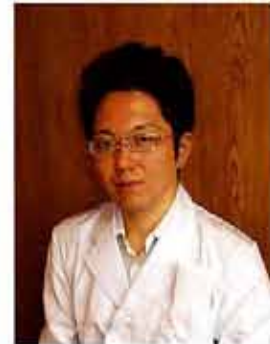
景山 聡一郎



木村 有成



古井 雅人



小林 豊





**大橋 壯樹**  
(名古屋徳洲会総合病院  
心臓血管外科部長)

大阪大学卒(昭和61年)

～略歴～

国立循環器病センター心臓血管外科  
メルボルンアルフレッド病院心臓胸部外科  
亀田総合病院心臓血管外科  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科

日本外科学会指導医・専門医

日本胸部外科学会指導医

日本循環器学会専門医

日本心臓血管外科学会専門医

現在名古屋徳洲会総合病院は心臓血管外科常勤5名、非常勤4名(当心臓血管外科グループ医師)、心臓外科麻酔常勤4名、非常勤3名と充実したスタッフで多くの手術をこなしています。緊急手術、患者の急変、高難易度手術も充実したスタッフで乗り切っています。多くのスタッフのため、それぞれ休養をとることも可能です。心臓外科医が十分休養して、最高の体力、精神力で手術に向かうことは手術に立ち向かう患者さんにとっての責務であります。若さ、元気、熟練そして安定した精神力、体力で手術を行っていくことが手術を受ける患者さんにとって大事なことと思われまます。これからも当院はスタッフの充実を図り安全、安心の心臓血管外科体制、24時間救急体制で行ってまいります。

日本外科学会専門医

徳島大学卒(平成7年)

～略歴～

千葉西総合病院心臓血管外科  
名古屋徳洲会総合病院心臓胸部外科  
松原徳洲会病院心臓血管外科

**吉田 毅**  
(松原徳洲会病院  
心臓血管外科部長)

いつも大変お世話になり感謝しております。今は大阪府下の松原市の松原徳洲会病院で診療をしています。

心臓や大血管の病気は突然起こり死にいたる病気です。いかに迅速に診断し、対応できるかが重要です。「ひとりでも多くの方の命を救いたい！」これが私たちの願いです。心臓、血管の病気、具体的には心筋梗塞、狭心症、弁膜症、大動脈瘤、急性大動脈解離などでお悩みの方は非ご連絡下さい。至らないことも多いかと存じますが、是非皆様の声をお聞かせください。

皆様に喜ばれる医療を目指して精進してまいります。

**平井 康隆**  
(宇治徳洲会病院  
心臓血管外科部長)

福井医科大学卒(平成13年)

～略歴～

松原徳洲会病院心臓血管外科  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科  
宇治徳洲会病院心臓血管外科

日本心臓血管外科学会専門医

日本外科学会専門医

皆さまこんにちは。徳洲会心臓血管外科グループの一施設であります宇治徳洲会病院心臓血管外科の平井康隆と申します。それまでは松原徳洲会病院と名古屋徳洲会総合病院で手術の勉強をさせていただきまして、今年3月に宇治徳洲会病院の方に転勤となりました。徳洲会心臓血管外科グループの新設施設であり、今後症例数増加が見込まれる施設であります。他の徳洲会心臓血管外科病院と連携しあいながら頑張っていきたいと思っております。また、24時間365日体制で、患者さまをお迎えに上がり緊急手術等の診療に当たらせていただき、安心して任せられる心臓血管外科を目指して行きます。今後とも宜しく御願い申し上げます。

## DOCTOR INTRODUCTION

小林 豊  
(名古屋徳洲会総合病院  
心臓血管外科医師)

昭和大学卒(平成13年)

～略歴～

川崎社会保険病院心臓血管外科  
宮崎市郡医師会病院心臓血管外科  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科

医学博士

日本外科学会専門医  
日本循環器学会専門医  
日本心臓血管外科学会専門医

本年7月名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科に着任致しました小林豊と申します。医師として患者様とのコミュニケーションを大切に、情熱を持って日々の診療にあたることを信条としてやってまいりました。他のスタッフと共に、患者様に安心できる安全な医療を提供出来るよう研鑽を怠らず、微力ながらチームの一員として精一杯努力していきたいと考えております。心臓血管疾患は病態も複雑でご不明な点も多いかと思しますので、なにかあれば些細なことでも遠慮なくご相談いただければと思います。24時間365日、いつでも迅速に対応させていただきます。今後とも何卒よろしくお願い致します。

島根大学卒(平成17年)  
松江生協病院  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科

景山 聡一郎  
(名古屋徳洲会総合病院  
心臓血管外科医師)

平素より大変お世話になります。名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科の景山聡一郎と申します。早いもので私が名古屋に来て丸4年が経過しました。この4年間は、本当に数多くの患者様との出会いがあり、また地域の皆様、開業医の皆様を支えられ患者様の治療を続けることが出来た4年間でした。われわれは主に心臓大血管の手術をさせていただいておりますが、一人の患者様の治療には数多くの方の助力があって初めて成り立っております。術前より細やかに内科治療をして下さり最適なタイミングでご紹介くださる諸先生方のお力なくして手術の成功はないと肝に銘じております。また術後にも再び内科的治療を継続していただいております。いつまでもお元気な患者様に年に一度の“術後の会”でお会いすることが出来るのは、われわれ一同の大変なよろこびであります。先生方のご協力にて多くの患者様を救うことが出来ると思っております。これからも、いろいろとご迷惑をおかけすることがあると思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

古井 雅人  
(名古屋徳洲会総合病院  
心臓血管外科医師)

富山医科薬科大学卒(平成18年)

～略歴～

名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科  
大垣徳洲会病院  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科

電話が鳴る、救急車の出動だ！・・・緊急手術の紹介を受けお迎えにあがる、夜中にこんな感じで始まる一日も多く、心臓血管外科医として非常にやりがいのある毎日を送っております。当院は年間200件以上の開心術(末梢血管を含めると、全450件)をさせていただいております。これも偏(ひとえ)に地域の皆様へ尽力を注いでいる開業医の先生方のお陰でもあります。患者様の訴えを聞き逃さず、“素早く当院へ紹介する”。その連携でこれまでも多くの方の治療に携わることができました。当院を頼ってくださる方々の期待に応えられるよう、常に診療技術の向上に努め全力で治療に当たらせていただきます。これからも地域の先生方と連携をとりながら、チームで協力し合って患者様が安心して治療を受けられるよう頑張っていきます。今後ともよろしくお願い致します。



木村 有成  
(名古屋徳洲会総合病院  
心臓血管外科医師)

大阪医科大学卒(平成16年)  
新宮医療センター  
高砂西部病院  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科

この度、兵庫県での応援を終え、名古屋の心臓血管外科グループにお世話になります。名古屋に足を踏み入れるのは初めてですが、以前の消化器乳癌外科での経験も活かしつつ、地域の皆様のことを最優先に、さらに自分に対しても研鑽をつんで参りますので今後ともよろしくお願い致します。

三重大学卒(平成17年)  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科  
野崎徳洲会病院心臓胸部外科  
松原徳洲会病院心臓血管外科

坂倉 玲玖  
(松原徳洲会病院  
心臓血管外科医師)

日頃は大変お世話になっております。私は生まれも育ちも、愛知県春日井市高蔵寺であり三重大学へ入学するまでの約20年間をこの町で過ごしてきました。当然名古屋徳洲会病院は開院当初から知っていました。医者になったら地元の医療に貢献したいという気持ちと、医学部生時代の橋先生との出会いから、名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科グループに入ることとなりました。現在は大阪府松原市で勤務しています。医者になり気づくとあっという間に6年間の過ぎ7年目に突入しました。いつまで大阪で勤務するかわかりませんが地元の医療に貢献したい気持ちは今でも変わりません。愛知県に戻った際には何卒よろしくお願ひ申し上げます。

児島 昭徳  
(松原徳洲会病院  
心臓血管外科医師)

名古屋市立大学卒(平成18年)  
名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科  
松原徳洲会病院心臓血管外科

私は名古屋徳洲会総合病院で初期研修をおこない、救急医療の大切さを学びました。そんな救急医療のなかでも、心臓血管外科領域の疾患は、いずれも患者様の命を脅かす存在です。しかし、適切な診断かつ最適なタイミングでの治療をおこなうことによって、患者様は驚くほど元気になるのも現実です。すべての患者様が良好な転帰をたどることが理想ですが、そのためには開業医の先生方とのチームワークは不可欠であり、また患者様だけでなく、ご家族様や地域の皆様の病気へのご理解も必要です。いざというときに1分でも1秒でもより早く治療をおこなえるようにドクターカーにてお迎えにまいりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

|| CARDIVASCULAR SURGICAL GROUP NEWS

心臓血管外科グループ 最新ニュース

Cardiovascular surgical group latest news



米国胸部外科学会【AATS】

米国胸部外科学会(AATS)に参加しました。最新の学会発表と、最大の企業展示で最新の手術器具、手術室を見学してきました。





**北京学会発表【北京大学第一病院】**

5月6日から9日まで北京に訪問しました。今回は中国、日本の旅行社主催で中国大使館、外務省関係者も出席される中、メディカルツーリズムに関する講演会があり、日本の最新の心臓血管外科手術に関する講演を私(大橋)が行いました。アジアにおけるメディカルツーリズムは盛んで、日本でもメディカルツーリズムのビザを発行するなど、積極的になっています。中国も社会の発展とともに、健康に対する関心も高まっているのを感じました。北京大学第一病院にも訪問しました。心臓外科医、循環器内科医とも会うことができました。日本を含め、海外ともさかんに連携、交流しており、最新の医療を展開していました。中国の若い世代の活潑な行動力と社会の発展を感じる訪問でした。



**亜東記念病院【Far Eastern Memorial Hospital】**

私(大橋)と古井先生とで、台湾の亜東記念病院(Far Eastern Memorial Hospital)心臓血管外科との交流を深めに行ってまいりました。この病院の心臓血管外科医であるDr. Chiu, Kuan-Mingは、アジアで最も多くかつ最新のMICS手術(低侵襲心臓手術:小さな傷口での心臓手術)を行っています。右肋間小開胸、傍胸骨小切開による心臓弁膜症手術を見学しました。

当院でも昨年MICS手術を導入しております。亜東記念病院と同じMICS手術器具を使用しているため、当院でのMICS手術がさらに安全に確実に行えるためにも、大変参考になりました。台湾の若い元気な心臓外科の先生方とも交流しました。名古屋で再会することを約束して2泊3日の旅行を終えました。台湾の町並みでは中国とはちがった活気を感じました。



## CARDIVASCULAR SURGICAL GROUP NEWS



### ヨーロッパ・フランス【パリ～リヨン】

パリにある心臓外科病院3施設を見学してきました。ヨーロッパの最新の手術に触れてきました。また、ヨーロッパのリヨンにある心臓外科病院でも最新の手術を見学しました。右肋間で約5cmの創部で心臓弁膜症手術を行っていました。(ハート通信18号に詳細を掲載)  
当院でも6～8cmの創部で行っていますが、さらなる低侵襲手術かつ安全な手術を目指してまいります。



### ドクターヘリ【高山市～春日井市】

2010年5月28日、岐阜県高山市から名古屋徳洲会総合病院へ向けてドクターヘリが患者さんを搬送しました。高山市内の病院にて、緊急手術が必要と判断した大橋壯樹医師は、名古屋徳洲会総合病院へ搬送するのに「陸路より空路が迅速に対応できる」と県にヘリを要請(大橋医師が搭乗)、同時に、名古屋徳洲会総合病院から近い着陸ポイントへ地元救急隊に待機してもらった。救急隊やスタッフのスムーズな連携により、患者さんは病院に到着し、無事手術を終えました。

たとえ遠距離であっても、チームワークで命をつないだ今回の事例は、遠方で暮らす患者さんたちに、安心と希望を与えることができました。





心臓血管外科 年間成績

Cardiovascular surgery a result during a year

2010年の名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科の手術成績を公開中。

「どのような結果も、つつみ隠さず公開している」という心臓血管外科 大橋 壯樹部長。

2010年心臓大血管手術（1月1日～12月31日）

冠動脈バイパス術		術後死亡			術後合併症				
	91 例	1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	出血	脳梗塞	呼吸不全	創部感染	腰痛炎
予定	64	0	0	0	1	2	0	3	0
緊急	27	0	4	0	0	1	1	1	1
オフポンプバイパス手術		81 例			(全単独冠動脈バイパス術 91 例)				
弁膜症手術		術後死亡			術後合併症				
	89 例	1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	出血	脳梗塞	呼吸不全	創部感染	腰痛炎
予定	79	1	3	1	4	0	2	3	0
緊急	10	0	0	1	1	0	0	2	0
他の心臓手術		術後死亡			術後合併症				
	26 例	1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	出血	脳梗塞	呼吸不全	創部感染	腰痛炎
予定	9	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急	17	5	3	0	2	2	0	0	0
内訳 先天性(2)、心筋梗塞合併症(12)、心臓腫瘍(6)、肺血管手術(0)、その他(6)									
胸部大動脈瘤		術後死亡			術後合併症				
	75 例	1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	出血	脳梗塞	呼吸不全	創部感染	腰痛炎
予定	20	0	2	0	1	0	0	1	0
緊急	55	0	1	1	1	0	5	2	2
腹部大動脈瘤		術後死亡			術後合併症				
	60 例	1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	出血	脳梗塞	呼吸不全	創部感染	
予定	38	0	3	0	1	0	2	0	
緊急	22	0	1	1	0	0	1	0	
末梢血管手術		術後死亡			術後合併症				
	45 例	1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	出血	脳梗塞	呼吸不全	創部感染	
予定	21	0	0	0	0	0	0	3	
緊急	24	4	2	0	0	0	0	2	
(大橋、静岡宣七)									
同時に2種類以上の手術の場合は主要手術のみに含めた。									
術後死亡	1週間以内	手術後1週間以内に死亡したもの(原因を問わず)							
	1ヶ月以内	手術後1ヶ月以内に死亡したもの(原因を問わず)							
	1年以内	手術後1年以内に入院中に死亡したもの(原因を問わず)							
出血	術後出血により再手術を要したものを								
脳梗塞	術後1週間以内に神経学的異常又は頭部CTにて異常を示したものを								
呼吸不全	術後1週間以上の人工呼吸を要したものを(原因を問わず)								
創部感染	皮下に発熱した瘻管を伴う感染								
腰痛炎	胸骨より腹部の感染にて処置の必要なものを								
成績は定義どおりに判断させていただき、事務、看護部に誤りのないことを確認していただきました。									

※名古屋徳洲会総合病院ホームページからもここ数年の過去を含めた手術成績を確認できます。

## COLUMN - REHABILITATION -

## ご挨拶



リハビリテーション科  
大竹 浩史 理学療法士

初めて掲載させていただきます。リハビリテーション科理学療法士の大竹と申します。  
皆さま退院後の体調はいかがでしょうか？入院中は我々と一緒にリハビリをさせていただきましたが、体調を維持し、快適な生活を送るためには継続した運動療法がとても大切です。心臓をいたわる為、あまりに過度な安静生活を続けることで、心臓の機能だけでなく、運動能力や体を調節する働きが低下してしまいます。  
そこで今回は、運動の習慣をつけていただけるように運動療法の基本について書かせていただきます。是非皆様、入院中のリハビリの様子を振り返りながら読んで頂けると幸いです。

## 適度な運動をすると・・・

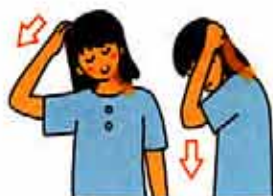
体力が回復しスムーズに動ける。  
狭心症や心不全の症状が軽減する。  
動脈硬化のもととなる危険因子(高血圧、高脂血症、肥満、糖尿病:死の四重奏)が軽減する。  
不安やうつ状態が改善する。  
心筋梗塞の再発や突然死が減り、死亡率が減少する。(3年間で約25%の死亡率の低下)などの効果が期待できます。

## 運動の方法

散歩や自転車などの比較的長く継続することができる運動が向いています。  
運動の強さは「中等度」が目安です。(後述する適切な運動強度の項目を参照)  
ストレッチ体操、ウォーミングアップ、有酸素運動、クールダウンを含めて全体で30分～50分程度が望ましいです。

## ストレッチ体操

まずは体を痛めないようにゆっくりと筋を伸ばしましょう。  
痛みを伴うまで伸ばしたり、呼吸を止めたりしないでゆっくりと10秒程度数えながら、それぞれ5～10回行いましょう。



首を前、横に倒して伸ばします



腰、太腿の裏を伸ばします



背中、肩、腕、手首、指を伸ばします



ふくらはぎを伸ばします



## 適切な運動強度

ただ闇雲に激しい運動をすれば良い訳ではありません。自分の体調を考慮して設定することが大切です。(右図: ボルグスケールを参考)



### 《自分で感じる運動の強さ》

自分が「楽である」～「ややきつい」と感じる範囲での運動が目安です。  
ボルグスケールに書いてある数字を10倍すると、その時の心拍数の目安となります。

### 《脈拍数》

運動強	%	40	50	60	70	80
	負 荷 強 度	中 等 度			強 度	
体 力 年 代	1 0 歳 代	121	135	149	163	177
	2 0 歳 代	117	130	143	156	169
	3 0 歳 代	113	125	137	149	161
	4 0 歳 代	109	120	131	142	153
	5 0 歳 代	105	115	125	135	145
	6 0 歳 代	101	110	119	128	137
	7 0 歳 代	97	105	113	121	129

安静時の脈拍数を65拍/分として算出。  
(見方の例)60歳代であれば運動時の脈拍は101～119拍/分が目安です。

## 日常生活での運動の工夫

時間がない場合でも工夫次第で運動をすることは可能です。出勤や買い物のときにわざと遠回りして早足で歩くなど、日常生活での活動量をアップさせることが大切です。

あなたがよく使う交通手段はどれですか？

徒歩の場合 ●————● 少し息がはずむ程度のスピードで歩きましょう。

自転車の場合 ●————● 目的地まで少し遠回りをしましょう。

バイク・自動車 ●————● 運動量が最も少ないので、エレベーター、エスカレーターをなるべく避けて、階段を使うようにしましょう。

バス・電車の場合 ●————● 目的地の1つ前の駅で降りて歩きましょう。

いずれの運動も無理のない範囲で行いましょう。  
日常生活の中に運動を取り入れて、習慣化することでいつまでも快適な生活が送れるように自分で体調の管理をすることが大切です。

VOICE IN PARTICIPATION IN MEETING AFTER IT OPERATES

Z

心臓血管外科 術後の会

Meeting after cardiovascular surgical operation





# 出逢い

術後の会に参加された方の声

## 出逢い

Treasure every encounter, for it will never recur.

此の世に生を受け八十年、幾多の方々とお逢い、数多くの事を学び、人と人との関りが如何に大切かということが分かって参りました。池に投げた一つの小さい石の波紋が末広がり広がるが如く生きていく限り人との出逢いは大切にしていきたいと思っております。

10年一昔との影の如く月日の流れの早いこと、大橋先生と私が出逢ったのは、13年前の2月でございます。2月に名古屋徳洲会総合病院に着任された先生に心筋梗塞で手術して戴き一命をとりとめた時に始まります。入院から退院迄、朝な夕な深夜迄も親身にお世話して下さいお陰で相当ひどかった主人の容態も回復出来元気に退院出来平穏な生活を送れる様になったのです。今でも当時のことは走馬灯の様に浮かんで参ります。只只感謝です。

重ねて諸先生、スタッフの皆様方へも感謝の念で一杯でございます。職員の皆様方の差別ない名古屋徳洲会総合病院のモットーである生命の平等を実に忠実に実行しておられる行動には頭が下がります。自他共に誇れる病院に御縁のあったことは最高の喜びであり誇りにさえ思います。

さて平成11年12月24日はハート通信創刊号発行紙上で理事長徳田先生が「自分は3年がかりで漸く大橋先生をスカウト出来た。これからは必ず患者さまの為になる医師だと確信しています。どうか大橋医師と共に頑張ってください」とのお言葉で紹介されています。そこで今迄名古屋徳洲会総合病院になかった心臓血管外科を一人で開設されましたとのこと、白地から現在の心臓血管外科の姿を築き上げてこられたのです。本当に逆境の時もあったでしょうが努力され、おこらず出しゃばらず大橋先生の姿勢には頭が下がります。チームの諸先生方のご協力、功績は大きいと想います。一人の力には限界がありますものね。

好い上司には、好い部下。きれいな姿ですね。

そして設立された術後の会第1回目は平成12年10月7日に千歳楼にて約50名位の会でした。其の後毎年10月に術後の会の方との会合は本当に楽しい思い出ばかりです。平成22年10月16日浜名湖ホテルウェルシーズン迄の11回、私も無欠席で参加させて頂いて戴いています。平成23年度も10月の術後の会には元気で出席したいと思っております。元気で通ってきた私も年を重ねることに休も備ならぬ様になって来ましたが、将来へ向って頑張って生きてゆきます。

術後の会の益々の御発展を大橋先生始め諸先生、スタッフ方々の健康で御精進なさいますことを祈念致し筆を止めさせて頂きます。とりとめもない文章を綴りましたが御笑読下さいませ。術後の会大好きの一人です。皆で益々盛り上げて行きましょう。

多治見市 橋口 順子



大橋 進樹医師と橋口 順子さん

## OPERATION EXPERIENCE RECORD



T.H男性  
上行置換術

この度は色々お世話になり誠に有難うございました。

先生始め、皆様の献身的なお心遣いを頂き、無くなる命を救っていただきました。心よりお礼申し上げます。

忘れもしません、2009年9月29日午後2時半頃、喉の奥に激痛が起き、それが鳩尾にまで走り、あまりの痛さに声が出せなく、腰が抜けた状態で歩くことも出来なくなり、その場に崩れおちました。直ぐに妻が近くの総合病院へ運んでくれて診察を受けた結果、最初は狭心症の発作と診察され、処置を受けましたが、痛みが治まらず改めてCT、心電図等の検査を行い急性大動脈解離とわかり、徳洲会病院へ連絡され、平井先生がわざわざこちらの総合病院まで来て頂き、応急処置をしながら救急車で徳洲会病院まで運んで頂き、緊急手術を行い、無くなる命を助けていただきました。

現在、退院後1週間過ぎましたが、リハビリに励んでいる毎日です。

今回、このような病気になり、今更遅いのですが、大いに反省したことがあります。私は山奥の田舎で生まれ育ちました。食生活は全てが塩漬けでした。漬物、味噌汁は3食必ず食べていました。お酒のつまみも全て漬物であり野菜、果物には必ず塩を付けて食べていました。タバコは1日40本は吸っていました。

怪我等で診察を受けたことはありますが病気は殆ど罹った事はなく、自分は健康そのものだと思い込んでいました。今回の様な病気も自分には関係なく、他人事だと思っていました。結果的に自信過剰になっていました。

人間60歳で体に異常が全くない事などあり得ません。血圧、コレステロール、中性脂肪等から来る、色々な体の異常に早く、気が付き診察を受ける事がいかに大事か今回の件で分かりました。

今後は血圧に注意し、減塩食中心の食事、煙草の禁煙、適度な運動等を心掛け、心配かけた妻、家族と共に暮らしたいと思います。

この度の入院で非常に感動したことが多々ありました。他の病院では見られない事がありました為、紹介いたします。

第一に先生の診察結果の説明、話し方。

非常に丁寧で、病人の心情を良く理解され、分かり易い説明でした。説明を受ける度に不安等が薄らいでいきました。今日も退院後1週間の外来検診を受けましたが、入院中と同じく、非常に分かり易い説明で、退院後に溜まっていた不安がなくなりました。

第二に看護師さんの患者に対する接し方。

いつも笑顔で、私も結構我儘を言いましたが、いつも笑顔で対応して頂き、本当に助かりました。あの笑顔がどれほど患者の心を和ませるか、計り知れないと感じました。

第三にメッセージカードです。

退院する日の朝、看護師さんより、「ご退院おめでとうございます。」という、メッセージカードを頂きました。本当にうれしかったです。

上記3点は他の病院では見られない事だと思います。今後も、血管に関する事は徳洲会病院で最後まで見て頂こうと心に誓いました。私のつたない体験と感想を述べさせていただきます。有難うございました。心から皆様に感謝いたします。



I.S女性  
上行・下行置換

5月の中頃の深夜に心臓の手術をして頂き、目が覚めた時に笑顔の先生が優しく言葉をかけて下さり、大きな不安が消え、ほっとして嬉しく思いました。遠くでも私の居た病院まで先生が迎えに来て下さり主人や子供たちにとっても心強く、感謝してもしきれない気持ちです。三年前に仕事を退職して体の不自由な実母の介護と実弟の病気の看護が始まり、2年前に少し落ち着くことができた頃に引き取っていた姑が足の骨折から不自由になり、家での介護が始まり、私が入院する10日前には主人が胃の手術で入院していましたので、どうして悲しいことばかり続くのだろうと悲観した気持ちを持って入院していました。先生方の回診の度に笑顔でかけて下さる「よかったですね」の言葉に病気への不安も消え心の中もだんだんと穏やかになりました。看護師さん方の思いやりのある優しさが嬉しく思いました。給食の方やお掃除の方々が声をかけて下さり、ほっとした気持ちになりました。本当に有難うございました。



手術後体験記



O.M 女性  
弁置換術

2011年3月1日 私は心臓弁冠動脈と大変な手術をしていただきました。

最初思ったより色々あって11時間もかかったそうです。年齢は83歳です。この年で？と思う人もあると思いますよ。だけど私の身体はやっていただかないと生きていく事が難しかったのです。

この大手術で感じたことは心臓外科チームの先生方、スタッフの方、ナースの方々、循環器の先生、リハビリの担当の先生、薬剤師の方。又、入院患者全体の栄養面でみんなの食事に係っている人々、部屋、廊下、階段と色々の掃除に当たっている人々、病院全体が自分の部処を毎日一生懸命に守り実行しておられるからこそ、たくさんの難しい手術が成功するのだとつくづく思いました。本当に心の底から頭の下がる重いです。どうかこの先、日々進化する医療関係に希望と努力で突き進んでいかれる事と思いますが先生もスタッフも全部人間！！休養のとれる時は十分休んでみんなベストで頑張ってくださいね。

病院の繁栄と先生方スタッフ皆様のご健康をお祈り致します。ずっとこれからも手術を受けた皆々を見守ってよきアドバイスを下さい。お願いします。術後もうすぐ4ヶ月になります。とっても元気になったおばあちゃんです。



N.S 男性  
冠動脈バイパス手術

8月4日午前10時頃、家で胸や腕が筋肉痛と思われる症状が起こり、最初は熱中症ではないかと、頭、首筋、わきの下など氷で冷やしたが、30分程もすると熱は下がり体温も34度台になってしまったが、変わらない痛みは増すばかりか、手先までがしびれ出す始末。病院に駆けつけて診断してもらった。

数種類の検査の結果、急性心筋梗塞とのこと。その後、救急車で名古屋徳洲会総合病院に運ばれ、緊急手術が必要とのことでした。すぐに手術を受ける。(救急車で運ばれる頃より本人に記憶はなし)

手術後、集中治療室、普通病棟を経て8月22日退院とするも徐々に回復にむかっているものと思われる。(9月6日現在)

今回の入院手術にあたり、優れた技術と献身的な努力で助けていただきました先生方を始め、スタッフの方々に深く感謝し、御礼申し上げます。

<ご家族より>

熱中症と思い込み、主人の身体を冷やしたり、水を飲ませておりましたが、腕が痛い、胸が痛いと言いますので、病院へ連れて行きました。(発作が起きて3時間ぐらい)

急性心筋梗塞と言われびっくりです。

心臓カテーテル検査、大動脈内バルーンパンピング旅行とかいうことをしてもらいましたが、名古屋徳洲会総合病院から景山先生と事務の男の方が迎えに来てくださり、救急車で病院へ連れてきてもらいました。

「緊急手術が必要な状態です」と告げられました。夜の8時から手術が始まり4時間に及ぶ冠動脈バイパス手術をしてもらいました。平井先生、景山先生、何人の方が手術にたずさわって下さったことでしょう。普通の人なら身体を休ませている時間です。医術と先生方の命を救うという情熱に感動した一日でした。感謝の気持ちでいっぱいでございます。

先生方とチームの皆さまのご健康を心より祈っております。80歳男性平均寿命より命をつないで下さり、これからは見守りながら、一日一日を大切に暮らしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

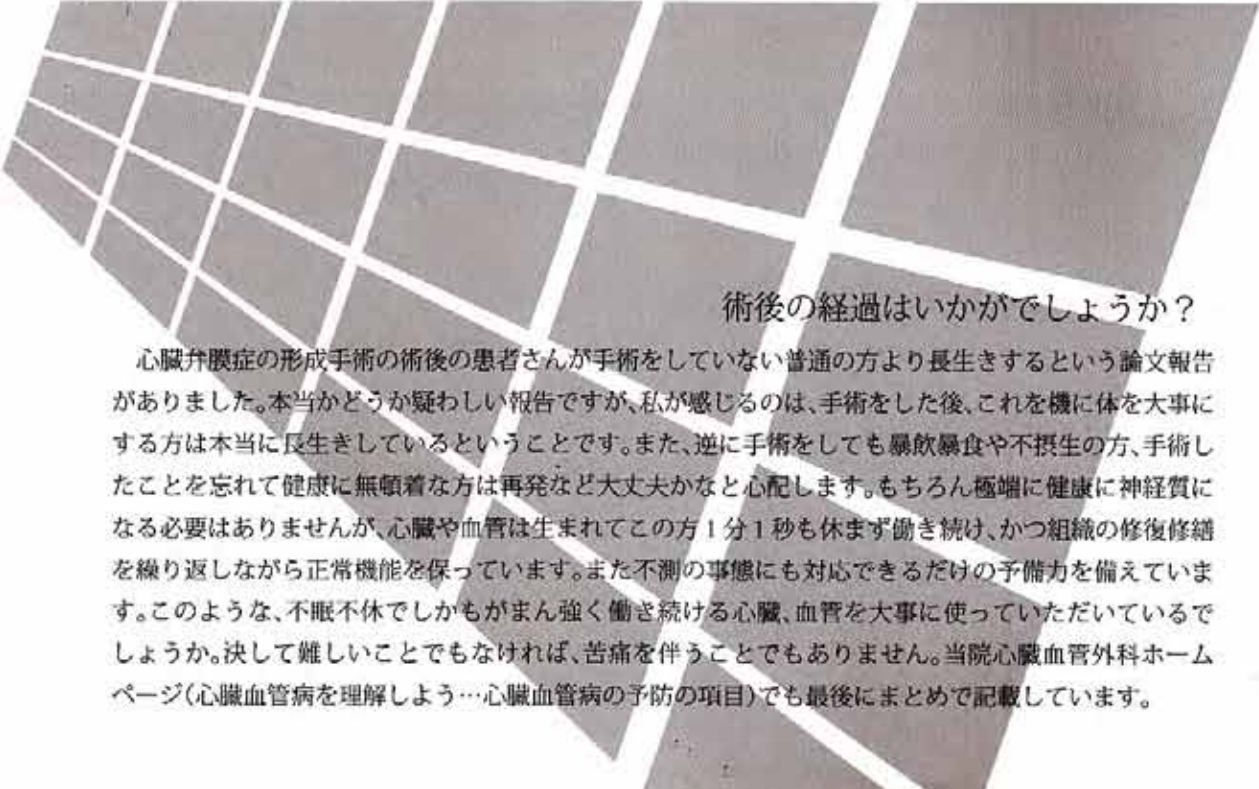


I.S 男性  
弁置換術

今回僧帽弁置換術の手術を受けました。最初は恐怖が頭をよぎり手術を受けるのは、抵抗がありました。しかし先生や看護師さんのお話を伺い、何日が悩みました。家族とも話し合いどちらが良いのか、術後の後遺症や術死など色々な事を考えましたが心臓手術を受けた方のお話や先生のお話をお聞きし、今しなければ歳をとるにつれ手術へのリスクが高くなると思い手術に踏み切りました。

手術を受け、体が良くなる自分がうれしく、ホッともしました。入院中は先生や看護師、家族にも大変お世話になり快適な入院生活を送ることが出来ました。

今後は生きる事の喜びをかみしめながら生活していきたいと思っております。本当にありがとうございます。



## 術後の経過はいかがでしょう？

心臓弁膜症の形成手術の術後の患者さんが手術をしていない普通の方より長生きするという論文報告がありました。本当かどうか疑わしい報告ですが、私を感じるのは、手術をした後、これを機に体を大事にする方は本当に長生きしているということです。また、逆に手術をしても暴飲暴食や不摂生の方、手術したことを忘れて健康に無頓着な方は再発など大丈夫かなと心配します。もちろん極端に健康に神経質になる必要はありませんが、心臓や血管は生まれてこの方1分1秒も休まず働き続け、かつ組織の修復修繕を繰り返しながら正常機能を保っています。また不測の事態にも対応できるだけの予備力を備えています。このような、不眠不休でしかもがまん強く働き続ける心臓、血管を大事に使っていただいているでしょうか。決して難しいことでもなければ、苦痛を伴うことでもありません。当院心臓血管外科ホームページ(心臓血管病を理解しよう…心臓血管病の予防の項目)でも最後にまとめて記載しています。

- I. 糖尿病、高血圧、高脂血症に気をつける。
- II. 禁煙。
- III. 暴飲暴食はやめる。
- IV. 体重増加に気をつける。
- V. 1日最低30分の軽い運動、歩行を行なう。
- VI. 楽しくストレスのない生活を。

手術を受けられた患者さんがますますお元気に楽しく暮らされることを心よりお祈りいたします。